

新潟市マンガ・アニメ情報館

新潟市マンガの家

平成 28 年度 指定管理業務報告書

- 1 入館状況
- 2 施設管理運営状況
- 3 情報館 実施企画展
- 4 家 実施企画展 特別講座
- 5 施設間連携 アウトリーチ
- 6 広報活動

新潟市マンガ・アニメ情報館 新潟市マンガの家 指定管理者
にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体
代表法人 学校法人新潟総合学院

1. 入館状況

平成 28 年度入館者数：新潟市マンガ・アニメ情報館 132,109 人
新潟市マンガの家 38,633 人
2 館合計 170,742 人
(2 館合計目標 140,000 人に対し 122%)
マンガの家講座受講者数 1,609 人
※別添資料：情報館 28 年度減免規定・団体利用者数 (年度まとめ・月別)

新潟市マンガ・アニメ情報館（以下、情報館）と新潟市マンガの家（以下、家）は本年度、開館から積み重ねてきた経験を活かし、入館目標に対して戦略的な展覧会やイベントの開催を計画し上記のような良好な結果を残すことができた。情報館では 4 月開催の『おそ松さんショップ』や 12 月開催の『あんさんぶるスターズ！』など、最新のヒット作品をゴールデンウィーク、年末年始に幅広い年齢層にファンを持つ『エヴァンゲリオン』とコラボした『エヴァンゲリオンと日本刀展』の開催を夏休み時期に充てるなどし、コアなファン層を確実に得ながら、より広い年齢層の方々に足を向けていただけるよう、展覧会コンテンツの選択と開催時期を適切に選び実現できたことが大きな収穫につながった。特に 4 月開催の『おそ松さんショップ』は同展全国巡回企画の中で新潟が全国初開催地だったことから注目を集め、全国からの集客にも成功している。また、展覧会を二つ同時に開催することで、様々なお客様のニーズに対応しつつ、短期間中に幅広い客層の呼び込むことにも成功した。家では原画展の開催を増やすと共に情報館、周辺地域との連携企画や TVCM の放送を増やすことにより話題の醸成を図った。また昨年度蔵書量が増えた「マンガの部屋」の認知も進み、リピーターも増えてきている。

一方、各展の開催経費については、連続する企画展の間で企画段階から共通にできるものを盛り込み設計。特に基礎造作壁などで共通部材を多くするなどし、経費の圧縮を図り、実行委員会パートナーへの負担を軽減した。最新人気コンテンツや大規模な展覧会を多く取り入れることができたのは特にこのような工夫を尽した結果であり、今後もコンテンツホルダー、出版社、企画展プロモーターとの関係強化とノウハウの蓄積に継続して取り組んでいく。

2. 施設管理運営

両館とも大きなトラブルもなく、安全に運営することができた。情報館常設展示『ラムちゃんと鬼ごっこ』では以前より度々システムがダウンしてしまう現象が起きており、設計元の丹青社様へ根本的な改修をお願いしていたが、ようやく原因への対処ができ、その

後は一切ダウンすることがなくなった。4年目を迎え展示に必要な物品、過去の展示物、広報物、販売物などの在庫が増えてきており、随時整理整頓に努めているが、事務所作業室の保管場所や館内外での保管場所の確保に苦慮している状況である。今後も長期の保管が必要な展示品、物品は増えていくことが予想されることから、新たな保管場所の確保について十分な検討を尽していく。

3. 情報館 実施企画展

① 『開館3周年記念 古町と団五郎展 にいがたが大好きです!』

開催期間：4月16日（土）～5月8日（日）

（閉幕後もピックアップコーナーにて原画等一部を継続して展示）

主催：新潟市マンガ・アニメ情報館

家、情報館の名誉館長であり、新潟市のPRキャラクター「花野古町」と「笹団五郎」。2人が活躍する新潟市オリジナルアニメ『古町と団五郎』のアニメ原画、動画の展示を中心に、二人が活用されている商品やビジュアルなども集め開催。地域に根差したキャラクターであることをアピールできた。



② 『おそ松さんショップ ～6つ子旅に出るの巻～』

開催期間：4月16日（土）～5月8日（日）

主催：『おそ松さんショップ～6つ子旅に出るの巻～』新潟展実行委員会

新潟ゆかりのマンガ家、赤塚不二夫先生の原作によるTVアニメ『おそ松さん』。27年秋の放送以来、社会現象ともいえる人気を巻き起こした超話題作のグッズ販売を主にした同巡回企画を全国初開催することができた。作品の人気絶頂期である中での開催であり、また、初めてお披露目される商品、展示があったことから全国から多くのお客様に足を運んでいただき、開催期間中、連日入館を待つ行列が絶えることが無かった。今回、まさに

全国的に取りあいになる“旬”なコンテンツを扱えたのは開催プロモーターとの間で築いてきた協力・信頼関係があったことが大きく、各プロモーターとの良好な関係を構築する重要性を改めて認識した。運営については多くの来館者に対応するため特に臨時の人的コストを厚くして対応し、大きなクレームや事故もなく終えることができた。



-
- ③ 『心が叫びたがってるんだ×あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。世界展』
開催期間：5月14日（土）～6月9日（日）
主催：「ここさけ」×「あの花」世界展新潟実行委員会

新潟出身のアニメ監督、長井龍雪氏の人気2作品の設定資料、原画、イラスト、グッズなどを一堂に揃えた展覧会。どちらも埼玉県秩父を舞台にし、いわゆる「聖地巡礼」の成功例として若者から大きな支持を得た作品ということもあり、秩父で行われた作品とのコラボイベントの取り組みなども紹介した。



-
- ④ TVアニメ暗殺教室原画展
開催期間：5月14日（土）～6月9日（日）
主催：TVアニメ「暗殺教室」原画展新潟実行委員会

集英社週刊少年ジャンプにて連載され、劇場用映画として実写化もされた同作品のTV

シリーズアニメ版より原画、設定資料などを揃えて展示する内容。上記③の「ここさけ」×「あの花」世界展と開催を同じくしたため、常設展ミニシアター、ミュージアムショップのスペースを使用し開催した。週刊少年ジャンプで高い人気を保つ作品であり、入場を無料としたことから家族連れも多く、会場が賑わった。



⑤ サイコパス原画展

開催期間：6月11日（土）～7月10日（日）

主催：「サイコパス原画展」新潟実行委員会

2012年10月よりフジテレビ「ノイタミナ」枠にてTVアニメがスタートし、2015年には劇場版アニメが上映された同作のアニメ原画や設定資料300点以上を展示した。会場では劇中に出てくる銃を持って撮影ができるコーナーやキャラクタースタンディ9体を展示するなど独特な世界観に浸れる内容とした。同作のアニメ制作は新潟にも分室スタジオがあるプロダクション・アイジーがあたっているが、そのクオリティの高さから大人からの支持が高い作品とあって来場者の年齢の高さが印象的だった。



⑥ エヴァンゲリオンと日本刀展

開催期間：7月16日（土）～9月19日（日）

主催：エヴァンゲリオンと日本刀展新潟実行委員会

TV放映の開始から20年が経過した今も世界的な人気を得ている『エヴァンゲリオン』。その世界観を、今や若い女性の間でも人気が高まっている「日本刀」の造形で表現した前衛的な企画展を開催した。異色のコラボ展を夏休みに開催することで幅広い年齢、嗜好の客層を掴めると予想。実際、会場には年配の方、刀剣女子、エヴァマニアなど様々な雰囲気を持つお客様が多く来館した。キャラクターの等身大フィギュアの他にも、キャラクターと舞台、シチュエーションをイメージして制作された刀や、日本刀の工程を解説した映像やパネル、日本刀を実際に手に持つことができるコーナーなど、アニメ作品の世界にとどまらず、新旧の日本文化を体感できる内容となった。日本刀を扱い、中には3メートルを超える巨大な剣の造作物があったため、展示状態の監視などにはいつも以上に注力し、2か月という長い展示期間を無事に終えることができた。

また、毎週末には刀匠をお招きし、オリジナルグッズのプレートに名前を彫る「銘切り」の実演販売を行ったり、日本刀についての解説会を開催するなど情報館のイメージを大きく広げる展覧会となった。



⑦ 絵師 100 人展新潟篇 06

開催期間：9月24日（土）～10月23日（日）

主催：絵師 100 人展 06 新潟篇新潟実行委員会

近年世界的に大きな注目を浴びている、アニメ、ゲーム、ライトノベルの挿絵などを描くイラストレーター（絵師）100人のオリジナル作品を展示する作品展。開館以来毎年開催している同展も6回目を迎えた。回数を追うごとに入場者数を伸ばしており、情報館の開催もファンの中に定着してきている。確実に固定した入館数を見込める展覧会であり、また、新しいポップカルチャーの世界をアピールできる機会でもある同展の開催は情報館の役割としても大変大きな意味があると考えている。

【関連イベント】

出展絵師サイン会

10月9日（日）晩杯あきら先生サイン会

10月10日（月・祝）Anmi先生サイン会

各日事前抽選による100名様限定

同展恒例のサイン会は二日に分け、それぞれ1名ずつの作家を招聘。申し込みはどちらも好評で、募集定員を超える応募があった。



⑧ ろんぐらいだあす！展

開催期間：10月29日（土）～11月27日（日）

主催：ろんぐらいだあす！展実行委員会

一迅社コミックREXの連載を原作とし、28年秋よりアニメ化され放送が開始されたばかりの同作初の原画展を「がたふえす Vol.7」に合わせ開催した。当館によるオリジナルの設計としたが、TVアニメ放送と同時進行での計画であったため展示素材の収集には出版社様、アニメ制作スタジオ様に多大なるご協力をいただいた。マンガ原画、アニメ場面写と共に実際の競技用自転車も4台展示するなど立体的な内容とし、作品の世界観を表現できた。また、がたふえすとのタイアップイベントとして同作TVアニメご出演者様のトークショーやマンガ原作者三宅大志先生のサイン会なども実施。情報館前で実施したサイン会では約100人の希望者があり大盛況だった。



⑨ KING OF PRIZM by PrettyRhythm 応援 PARTY at Niigata

開催期間：10月29日（土）～11月27日（日）

主催：「KING OF PRIZM by PrettyRhythm 応援 PARTY at Niigata」実行委員会

同作はゲームから生まれ、劇場用アニメとして上映されるや、映画鑑賞中に声をあげて作品を応援する「応援上映」という現象を生み出した超話題作。若い女性を中心に熱狂的な人気を誇っている。情報館設計のオリジナル企画展として「がたふえす」に合わせ会期をスタートさせた。権利元であるタツノコプロ様から一迅社様より刊行されている同作「設定資料集」からの展示資料抜粋をお勧めいただき、キャラクター設定画、背景画、場面写、などをパネル化し展示のベースとした。撮影可能ゾーンには版權イラストを等身大に拡大した壁面を作り、その前に花やバスルームなどの立体物を置く半立体のイラスト再現コーナーをつくるなど独自性を出した。また、音と光による演出を施したライブステージも作成し、先の「応援上映」ならぬ「応援ステージ」を設計。サイリウムを持ってキャラクターを応援する若い女性の姿が多く見受けられた。

上記⑧の展示と共に企画展室を分け合う形でふたつの展示を同時に展開。入場料を一括料金とし、両展共に楽しんでいただけるような形をとった。



⑩ あんさんぶるスターズ！Welcome to Festa！

開催期間：12月3日（土）～1月9日（月・祝）

主催：「あんさんぶるスターズ！Welcome to Festa！」新潟実行委員会

アイドル育成ゲームとして人気を博している同作の展示会。等身大キャラクター像やパネルと一緒に写真撮影ができるなど、2次元アイドルの世界を立体的に楽しめる内容。大阪、東京に続いて全国3番目の開催となったことから注目度も高く、冬休みから年末年始にかけて開催期間でもあったことから、全国から多くのファンが来館した。入場促進策として12月25日に同作出演声優によるトークステージを企画。ステージ参加条件として同展示会に入場の上での抽選とし、多くのリピーターを生んだ。また年始からはオリジナルしおり（グッズ購入特典）キャンペーンを開始。会期終盤になっても入館の勢いは衰えなかった。

【関連イベント】

『Switch スペシャルトークステージ』

12月25日（日） 新潟市産業振興センターにて開催

同作アイドルユニット「Switch」を演じる3人の声優をゲストに迎え、新潟展オリジナル企画ステージとして開催。同展入場者を対象にした抽選の結果約700名が参加。展示会場から離れた会場でのイベントとなったため、ハブとなる新潟駅南から会場まで増便バスをチャーターし大人数の移動に対応した。入場者対応からご出演ゲスト対応まで、大きなトラブルもなく無事に終了。ファンの方からもさらに情報館に対するご支持をいただき、館の認知にも大きく役立った。



⑪ 江口寿史展 KING OF POP 新潟編

開催期間：1月14日（土）～2月12日（日）

主催：江口寿史展新潟実行委員会

日本のギャグマンガを革新したマンガ家、江口寿史先生の画業38年をまとめた原画展。デビュー当初からの貴重なマンガ原稿からポップなイラストレーションまで約400点を展示。マンガの枠を超えた「ポップカルチャー」の中で長い人気を誇る先生の原画展とあって、20代から50代までのマンガ・アニメに関心の薄い層の入場も多かった。これらの人の中には情報館に初めて足を運んだ方も多く、新たな館の認知にも繋げることができた展覧会だった。開幕初日、2日目には江口先生によるイベントも開催し、ファンの方にも大いに喜んでいただけた。また、地元フリーペーパー「CUT IN」との表紙コラボレーションなど新たな客層も取り込めるような新規の広報手段にも挑戦した。

【関連イベント】

1月14日（土）江口寿史による「列島縦断！LIVE スケッチ 新潟編」

事前抽選による15名様対象

江口先生による参加者の似顔絵ライブ。常設展内を会場にし、一般のお客様も様子を自由に観覧できる形で実施した。描かれた似顔絵は同展にて会期末まで展示した。

1月15日（日）江口寿史5分間スケッチ道場

事前抽選による5名様対象

江口先生が提唱する練習法「5分間スケッチ」を先生が直接伝授する公開講座。先生が講座形式で行うイベントは今回が初めてになる。直接指導を受ける5名様以外に一般のお客様も多く観覧し、大いに盛り上がった。



⑫ 蒼樹うめ展 in 新潟

開催期間：【前期】2月18日（土）～3月20日（月・祝）

【後期】3月25日（月）～4月23日（日）

主催：「蒼樹うめ展 in 新潟」実行委員会

『ひだまりスケッチ』などのマンガ作品や『魔法少女まどか☆マギカ』のキャラクターデザインなどで知られる蒼樹うめ先生の初個展。東京、大阪に次いで3番目の開催地となった。会期を前後期に分け、展示のすべてをご覧いただけるようにした。先生の幼少期の絵から貴重な原画、制作現場の再現まで、先生の全てが公開されるとあって、近隣の県からはもちろん、全国から熱心なファンが詰めかけ、一日に何度もチケットを購入し再入場するリピーターが多かったのが印象的だった。先生には前後期1回ずつのサイン会においていただいたが、その際先生が残していく展示壁に直接描かれたメッセージや絵もファンにはうれしい演出となった。会場限定グッズも先生による描き下ろし新潟オリジナル色紙などを販売し入場の促進として活用した。

【関連イベント】

蒼樹うめサイン会

（前期）3月4日（土）

（後期）4月8日（土）

各日事前抽選による100名様限定

抽選応募数も前期は約600名、後期800名と情報館が扱う抽選例としては過去最高の倍率となり、蒼樹うめ先生の人気の高さを裏付けた。応募された方も遠くは長崎、北海道、愛

媛など全国に渡り、当選者の当日参加率もほぼ 100%に近かった。



4. 家 実施企画展 特別講座

【企画展】

① 『放課後のプレアデス展』

開催期間：9月15日（木）～10月25日（火）

一迅社より刊行されている同作のマンガ原稿やアニメ本編でのアイキャッチイラストなどを展示。マンガは情報館『絵師 100 人展 06』にも作品を出展している anmi 先生。同作アニメは新潟市出身の山賀博之氏が代表を務めるガイナックスが制作している。

Anmi 先生が同時期情報館で開催している『絵師 100 人展 06』への出展、サイン会 招聘作家であることから、来場者への Anmi 先生ポストカードのプレゼントキャンペーン（グッズ購入特典）も企画し、姉妹館連携策のひとつとした。

② Belne マンガ家生活 40 周年記念展

開催期間：10月27日（木）～12月6日（火）

にいがたマンガ大賞の2次審査員を務めていただいているマンガ家 Belne 先生の商業作家生活 40 年を記念した原画展。商業誌、同人誌でのマンガやイラストやマンガ教育関連の素材など多岐にわたる氏の活動を一堂に集めた。絵を描くという仕事の領域の広さを充分伝えることができる魅力的な展示内容だった。

③ 『山上たつひこ原画展』

開催期間：【前期】12月8日（木）～2月7日（火）

【後期】2月9日（木）～4月11日（火）

日本のギャグマンガ史を塗り替えた巨匠、山上たつひこ先生の原画を前後期通して約130点展示。氏の初連載作など大変貴重な原稿もお預かりし展示できた。展示作品の中には直接販売可能なものを含むなど通常とは違う展示会となった。また、後期から「マンガの家パートナーショップ」3店舗ではコラボ商品販売なども展開した。

④ 『第19回にいがたマンガ大賞作品展』

開催期間：3月2日（木）～4月11日（火）

毎年恒例の展示会。昨年同様、にいがたマンガ大賞受賞作品を毎週各部門ごとに分け、6週に渡って展示。新潟ゆかりのマンガ家の皆さんからいただいた応援イラストも展示した。合わせて作品集の販売も行うなど、にいがたマンガ大賞の窓口として、家の認知を広げる機会にもなっている。

【特別講座】

① Belneのコミックワークショップ

開催日：10月30日（日）

マンガ家・イラストレーターでにいがたマンガ大賞の二次審査員も務めるBelne先生による作品添削会。参加定員は50名。一人一人のマンガ原稿、ネーム、イラストに対し対面で添削し、その内容を会場のギャラリーも聴講できる公開講座形式。Belne先生の原画展と同時期に開催することができた。毎日開催している「マンガのいっぽ」に加え、このような直接プロに見てもらえる、次代の作家を育てるイベントを今後も増やしていきたい。

5. 施設間連携 アウトリーチ

情報館・家の施設間連携は企画展関連講座の展開を中心に以下の通り実施。

情報館	家
エヴァンゲリオンと日本刀展	関連講座「日本刀の描き方」など計2回
絵師100人展	関連講座「女の子の描き方」など計5回
絵師100人展 Anmi サイン会	放課後のプレアデス展 Anmi ポストカード

江口寿史展	関連講座「女の子ポーズの描き方」計3回
蒼樹うめ展	関連講座「女の子の描き方」計1回

① 新津美術館との連携事業『出前美術館』

新津美術館主催の出張型美術授業（アウトリーチ）も今年度で3年目となる。今年度は4日計5校にて行った。内容は「誰でも描ける！簡単マンガキャラクターの描き方」とし、デッサン法をマンガ的な解釈で伝え実践させるもの。顔の基本、顔の向きの変え方、人体の基本、手足の描き方、ポーズの描き方を約1時間～2時間で展開する授業。対象は小学校4年～中学校とし、新津美術館より各学校へ募集をかけていただいた。冒頭には情報館と家のPRを入れさせていただき館の広報活動としても活用させていただくと共に、マンガ家、アニメーターのお仕事を伝えることで職業啓発的な内容も含んだ授業とした。このジャンルの次代の担い手やファンを生んでいく意味のある取り組みと感じており、今後も引き続き取り組んでいく。今年度実績は以下の通り。

6月29日 下山中学校美術部 19名
6月30日 中野小屋中学校全学年 54名 坂井輪中学校美術部 42名
7月1日 山ノ下小学校 6年生 38名
7月8日 小林小学校 2年生 30名

② 情報館・家独自のアウトリーチ

上記と同様の出張講座を各学校、団体からの要望に積極的に応え実施した。講座と合わせ、情報館、家の存在や新潟市のマンガ事業の周知、PR、また、職業啓発の意味を持たせるようにしている。子どもたちへのキャリア指導、進路講話的な内容の希望があった場合は、マンガ家やアニメーターの仕事の内容、実現の仕方などを内容に含んでいる。今年度実績は以下の通り。

4月27日、6月24日、7月8日、8月26日、1月20日 南万代小学校
6月28日 関屋小学校
7月12日 東新潟中学校
9月3日 宮浦中学校
10月23日 白新中学校
12月14日 小瀬小学校
12月20日 潟東小学校

情報館・家の広報について、日常的なものとしては各ホームページ（HP）とツイッターを中心に展開した。各施設の情報を、リンク先、新潟市のマンガ・アニメPRサイト「マンガアニメナビにいがた」や入居施設「ビルボードプレイス」のHPなどに掲載。ツイッターに関してはこのジャンルを好む層に向けて大変有効な伝達手段であるため、その反応をつぶさに分析しながら、昼夜問わず効果的なタイミングで展開した。また、実行委員会制の中で地元放送局との連携も強化され、企画展ごとのTVCMを多く打つことができた。いわゆるSNS世代だけではなく、より幅広い層に認知を広げていくためにはTVの活用は必須と考えており、今後も積極的に展開していきたい。

【主な広報実績】

TVCM（15秒）：情報館開催各展、マンガの家「山上たつひこ原画展」

TV中継：UX「まるどり!」、NST「市政ニュース」、NCV

タウン誌：月刊にいがた、WEEK!、月刊新潟こまち、CUT IN、Pas magazine、

ジャックランド（上越）、街角コンパス（新発田）、

庄内小僧（山形）、月刊山形ゼロ・ニィ・サン（山形）、タウンマガジンいわき（福島）、Voice（福島）

情報誌：るるぶ、じゃらん、きゃらびい、ガタコト、assh

新聞：新潟日報、毎日新聞、産経新聞、妻有新聞、市報にいがた

情報館・家HP PV数合計：403,774（昨年比111%）